



議員 高澤 公

### 消防体制に対する市の考え方は

防火水槽や消火栓の配置、充足度は

質問

防火水槽や消火栓の配置、充足度と機能及び通常業務の職員体制と災害時対応の職員数の充足度について伺う。

市長答弁

防火水槽、消火栓の配置については、国の指針により計画的に進めており、市内の充足率は約65パーセントである。また、機能については、定期的な点検により万全を期している。

職員数の充足度について、



議員 田原 実

### 糸魚川地域医療の現状と課題は

医師・看護師・保健師等の確保は

質問

医師・看護師・保健師等医療資源確保の行政対応及び市民の健康運動の推進について伺う。

市長答弁

医療資源確保については、医師及び医療を目指す人たちに就学資金の貸付けを行っているほか、病院群輪番制病院運営事業や診療所開設等支援事業、大学連携臨床研究補助金等と併せ、各大学医学部に直接出向いての医師派遣要請

消防本部人員は定員93人のところ、現在92人となっており、通常業務については、本年度から職員の兼務体制により組織体制の維持強化を図っている。

また、災害時には、消防団と協力する中で現有の人員で消防業務を担っている。



### 小中学校の学力は

質問

全国一斉学力テストの昨年と比較した結果と分析について伺う。

教育長答弁

比較した結果と分析については、市内の小中学校6年生では、国語・算数において知識・活用問題ともに昨年度同様に県や全国平均を上回っている。とりわけ国語の知識問題と算数の活用問題では、昨年度に比べて向上している。

### 農業・林業・水産業の振興策は

質問

農業・林業・水産業の担い手育成への積極的な支援及び売れる農業、売れる林業、売れる漁業を支援するシンクタンクについて伺う。

市長答弁

担い手への支援については、低利の融資や県単事業の活用等、各条件に適合する事業支援を行っている。各業種を支援するシンクタンク

市内の小中学校3年生では、国語・数学ともに、昨年度と同様に知識の定着と活用に課題がみられ、昨年度よりも下回っている。また、中学校の取り組みを分析した結果、国語においては、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業や、書く習慣を付ける授業を行っている学校の割合が低いこと、また数学においては、補充的な学習の指導をよく行っている学校の割合が低いこと等が分かり、これらの改善を各学校に指示した。

シンクについては、商品の販売や宣伝に積極的に取り組む事業者に対しては、県や関係機関と連携しながら側面的な支援をしていく。



### 《その他質問項目》

・バリアフリーのまちづくり推進